

# 5 スポーツを通じた地域活性化への支援

(内閣官房、スポーツ庁)

## 【現状と課題】

東京オリンピック・パラリンピック等の国民的な大規模イベントを控え、地方全体が盛り上がりつつある中、スポーツ関連予算は地方が主体的・積極的に活用できるものが少ないのが現状です。各地方自治体のスポーツ関連施策を推進するために、活用しやすい制度創設や財政措置が必要とされています。

## みえのスポーツ・イヤー本格展開

「スポーツ・イヤー元年」  
重要な5年間スタート！

県営陸上競技場リニエール

ポッチャ国際大会

全国高等学校総合体育大会

(2018 彩る感動 東海総体)

ラグビーワールドカップ

全国中学校体育大会

東京オリンピック・パラリンピック

三重とびのりが国体  
三重とびのりが大会 2021

## スポーツを通じた地域活力の創出


### ① 東京オリンピック・パラリンピック

地方自治体の取組

- ・事前キャンプ地の誘致
- ・フラッグツアー、聖火リレー

誘致決定前の財政支援制度が必要

○カナダ・アーティスティックスライミングチームの誘致決定



### ② 未来のスポーツを担う人材の育成

- ・指導者の確保・養成による競技力向上
- ・地域社会に貢献するスポーツ人材の育成 (在籍企業やアスリートへの支援等)

○みえコーチアカデミー開講 (H30.4.25)



地方からオリンピックメダリスト 輩出へ！！

地方においても 全国トップレベルの指導スキルを修得

### ③ 国体・全国障害者スポーツ大会

- ・成功に向けた開催準備
- ・大会を契機とした地域活性化

開催経費の約9割が県負担

課題

○財政負担が大きい ○支援制度が少ない ○国と地方の連携・協力

## 【提言・提案項目】

スポーツを通じた地域活性化や交流促進、人材育成のための十分な予算を確保すること。特に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や国民体育大会等を契機とした交流促進や、スポーツを通じた地域活性化を創設するなど、地方自治体の政策実現に向けた支援を行うこと。

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の機会を高めるとともに、波及効果を全国に行きわたらせ、地方創生を推し進めていくため、地方自治体が行う事前キャンプ地誘致、ホストタウン、フラッグツアー、聖火リレー等の取組に係る財政支援等の制度を充実させること。
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や国民体育大会等の国際大会・大規模大会での活躍を目的とした競技力向上のための取組に加え、大会後も将来にわたって「スポーツを通じた地域活性化」を担う人材を育むための取組への支援を行うこと。
- 3 国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催にあたっては、開催県に大きな財政負担が生じることから、開催経費に係る財政措置を拡充すること。

【地域連携部】

# 10 グローバル化に対応する強い農林業の構築に向けた支援の充実・強化

(農林水産省)

## 1 「農林水産業の輸出力強化戦略」に基づく取組の加速

・輸出額は平成29年の実績値で8,073億円(速報値)となり平成25年から5年連続で増加  
 ・輸出額1兆円(平成31年)の目標達成に向けては、地方の課題解決を加速することが重要

検査条件など相手国の輸入規制の徹底・緩和や、生産者と相手国消費者をつなぐ環境の整備等、品目ごとの取組に対する支援の充実・強化が必要

## 農畜産物の輸出促進に向けた二国間協議および輸出拡大のための取組への支援の強化

### 柑橘

【タイ】  
 ・タイ検査官の招へいによる輸出検査が必要  
 ・SOS防除(殺菌・防かび処理)が必要  
 ・輸出は11月以降の収穫物のみ可能で、極早生温州みかんは対象外

【台湾】  
 ・残留農薬基準が厳しく、使用農薬に制限



日タイ合同検査

### 伊勢牛・松阪牛等

【中国】輸出が解禁されていない

【台湾】月齢制限(30ヶ月齢未満)が残る



### 伊勢茶

【欧米】残留農薬基準が厳しく、使用農薬に制限

「フードパビリチュエーション・リアル実証事業」の活用により、伊勢茶輸出プロジェクトを実施

### 米

【中国】  
 精米・くん蒸を行う指定登録施設は、国内1箇所(神奈川県)のみ

平成29年から県産米の試験輸出がスタート!



輸出環境の整備に向け、二国間協議の強化が必要  
 ・品目別の取組支援を継続することが必要

### 課題

### 丸太

・平成27年2月から本格的な輸出が開始され、以降、中国・台湾・韓国に向けた商業輸出が継続  
 ・韓国では、優良材産地としての認知度も向上



韓国への原木輸出

### 木材製品

【中国】  
 ・木構造設計規格の改定により、スギ・ヒノキの構造材・内装材等への需要拡大が期待される  
 ・市場調査により、ターゲットを明確にし、効果的なPRが必要



尾鷲ヒノキ等優良材

### 【韓国】

・日本産ヒノキの人気の高まり、内装材・家具に使用される  
 ・現地のエージェント選定・確保が難航



見本市(韓国)での製品PR

### 課題

日本の木材製品をオールジャパンで普及・PRする体制など環境の整備が必要

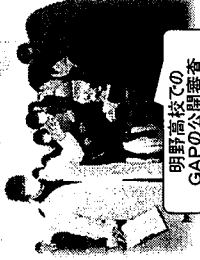
## 2 国際水準GAPの認証取得促進に向けた取組の加速

### 「農業生産工程管理推進事業交付金」の効果的な活用

#### 課題

東京オリパラとその先を見据えさらなる認証拡大が必要

教育的効果が高く、実践人材の育成に直結するが、GAP更新の費用は支援の対象外



明野高校でのGAPの公開審査

GAPの認知度は依然低い  
 ・食品関係事業者で40% (H29年度食品産業動向調査(農林水産省))  
 ・県民ではわずかに7% (H29年度GAPに関するアンケート(三重県))

#### 課題

GAPの理解度向上が必要だが、地域段階での取組は支援の対象外

1 農畜産物や木材の輸出拡大に向け、輸出の障壁を下げるための二国間協議の強化や事業者等の意欲醸成と行動を強化するための環境整備など、「農林水産業の輸出強化戦略」に基づく取組を加速すること。

- (1) 柑橘の検査条件緩和に向けたタイとの協議を進めること。また、台湾とのインポートトレランス(残留農薬基準)の対象拡大に向けた取組を強化すること。
- (2) 牛肉の輸出拡大に向け、輸出解禁に向けた中国等との協議や月齢制限撤廃に向けた台湾等との協議を強化すること。
- (3) 茶の輸出拡大に向け、欧米とのインポートトレランス(残留農薬基準)の対象拡大に向けた取組を強化すること。
- (4) 米の輸出拡大に向け、多様な輸出機会を提供できるよう、中国への働きかけを継続的に進めること。
- (5) 木材の輸出拡大に向け、オールジャパンでの輸出先国のニーズに関する情報収集や総合窓口機能を整備するなど、意欲的な事業者を支援するための環境を整えること。
- (6) 「フードパビリチュエーション・リアル実証事業」等、海外の需要拡大・商流構築に向けた取組への支援を継続し、十分な予算を確保すること。

2 国際水準GAPの認証取得の加速に向け、「農業生産工程管理推進事業交付金」の予算を十分に確保するとともに、消費者および流通事業者の理解度向上のための取組やGAPに係る教育カリキュラムを都道府県が効果的に実施できるよう、交付対象を拡充すること。

【農林水産部】

提 言

# 13 真珠の振興に向けた支援の強化

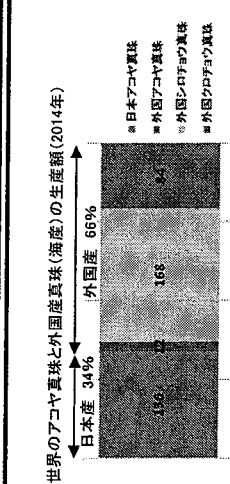
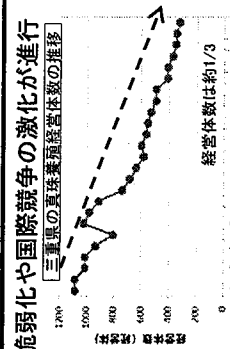
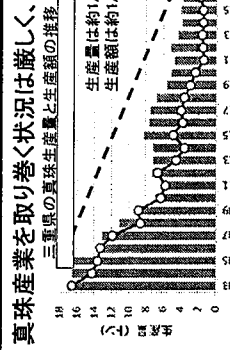
(農林水産省、経済産業省)

## 現状 三重県は真珠養殖発祥の地であり、真珠産業は本県における重要な地場産業

本県で誕生した独創的技術、120年以上続く一大産地  
平成29年3月 日本農業遺産に認定



「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」  
世界に広がった  
核入れ技術の確立



## 課題① 真珠産業の健全な発展と国際競争力の強化に向け、国制度の充実や財政支援の強化が必要

平成28年6月 「真珠の振興に関する法律」制定  
平成30年4月 「三重県真珠振興計画」策定

生産者の経営安定 生産性・品質の向上  
人材の育成・確保 漁場の維持・改善  
などの施策を推進

真珠の生産目標を設定

現状値(2014年)	目標値(2027年)
生産額: 25億円	生産額: 37億円
(参考)国の生産目標 生産額: 136億円 → 生産額: 200億円 (2014年)	(2027年)

**漁獲** 生産者の経営安定

計画に基づく省く省くコスト化のための機器整備に向け、国事業の活用に必要な広域浜プランの作成等を支援

競争力の強化を図るため、機器整備に必要な緊急対策専門家の継続的支援を確保

今後の課題  
競争力の強化を図るため、機器整備に必要な緊急対策専門家の継続的支援を確保

**品質** 生産性・品質の向上

高品質な真珠生産に必要な国産優良品種の作出・養殖技術の開発  
県水産振興事業団における優良品種の系統保存を実施

国産優良品種の普及に向けた実証試験の実施  
優良品種の安定生産のための系統保存体制の継続  
産学官連携による研究開発の推進と国産真珠の強化

**人材** 人材の育成・確保

全国に先駆け、学生等を対象とした漁業インターンシップを実施  
真珠養殖に特化した漁師塾の立ち上げを協議中

若者の就業促進のため、インターンシップに対する支援制度の創設  
真珠養殖においては技術取得に期間を要するため、長期研修制度の延長(3年→5年)などの国制度の充実

**漁場** 漁場の維持・改善

浚渫の実施による漁場環境の改善を実施  
有営赤潮等による被害防止のため、漁場環境モニタリングを実施

着実な漁場環境の改善のため、浚渫の継続的な実施に必要な予算の確保  
海環境等モニタリングと迅速な情報提供に対する国財政支援の強化

## 課題② 真珠宝飾文化の振興や需要増進に向け、東京オリ・パラ等での真珠の魅力のPRが必要

**三重県真珠振興協議会**  
(平成27年7月設立)

真珠の生産・加工・流通・販売に携わる多様な事業者により構成  
三重県産真珠のPRや真珠の魅力発信等を実施

都道府県では全国で唯一の協議会

平成28年5月 伊勢志摩サミット  
各国首脳へ三重県特産の真珠を用いたラベルピンを贈呈

日本を象徴する宝飾品として、国内外から高評価  
国内外から真珠見習ツアーを受け入れ、真珠のPRを実施  
(H28~29年受け入れ実績: 8.5名、うち海外 中国等4ヶ国40名)

中国、ASEAN諸国など、アジアの富裕層を中心に年々需要が拡大

好機を的確に捉え、オールジャパン体制で真珠の魅力や真珠宝飾文化に関する情報を広く発信することが重要

世界の真珠需要額(推計値)  
約400億円(現状)  
約160億円(2027年の新増需要増)

世界の真珠需要額(推計値)  
出典: 経済産業省平成28年度製造業技術実態等調査事業

今後の課題

- 国が中心となり、東京オリ・パラ、パリリンピック競技大会等における真珠の利用を促進
- 真珠振興協議会等の民間団体が実施する国内外への真珠のPR活動に対する支援の充実

真珠振興議員連盟による申入れ活動

1 真珠産業の健全な発展と国際競争力の強化に向けた国制度の充実および財政支援を強化すること。

(1) 生産者の経営安定、競争力強化を図るため、「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」を継続するとともに、十分な予算を確保すること。

(2) 生産性・品質の向上に向け、産学官連携による研究開発を推進するとともに、国の財政支援を強化すること。

(3) 人材の育成・確保に向け、若者の就業促進のためのインターンシップに対する支援制度の創設や、長期研修制度の期間延長などの国制度の充実を推進すること。

(4) 漁場の維持・改善に向け、継続的な汚泥の浚渫に必要な予算を確保するとともに、漁場環境等のモニタリングや迅速な情報提供に対する財政支援を強化すること。

2 真珠宝飾文化の振興および真珠の需要増進を図るため、国が中心となって、東京2020オリ・パラ等での真珠の魅力のPRが必要

広く国内外へ真珠の魅力のPRすること。

【農林水産部】

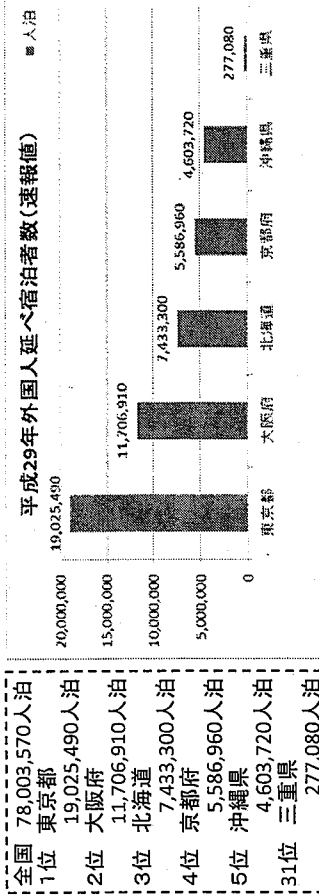
# 3 地方へのインバウンド誘致に向けた取組の推進

(厚生労働省、経済産業省、国土交通省、観光庁)

## 国際観光旅客税による地方支援

### 現状

訪日外国人旅行者数は年々増加しているものの、特定の都道府県に集中し、地方を訪れる外国人旅行者が少ない。  
 ・上位5都道府県で48,356,380人泊、62.0%



### 課題

2020年の訪日外国人旅行者数の目標値4,000万人を達成するには、地方へのインバウンド誘致をさらに促進することが必要。  
 ・「楽しい国・日本」の実現に向けて、地方において観光地域づくりを継続的に推進することが必要。  
 ・DMO、地方自治体が積極的に観光地域づくりを進めるための財源が確保されている。  
 ・インバウンドの誘致に向けて、日本の決済システムをキャッシュレス化する必要がある。

## 地域DMOの取組事例

**【大台】**  
スタンドアップパドル

**【伊勢】**  
お伊勢さん観光案内人

**【志摩】**  
サイクリング

**【伊賀】**  
忍者ショー

## 平成30年度の三重県の取組

- FITの動向、関心を的確にとらえ、「楽しい国・日本」の実現に向け三重ならではの体験の充実、SNS「Visit Mie」での情報発信
- 観光施設への入込数で存在感が大きい台湾・香港のグリップ
- 日本初開催となる「IAGTO 第一回日本ゴルフツーリズムコムベンション(三重県開催)」を生かした欧米からの誘客  
 日程 2018年9月28日～10月6日  
 参加者 海外バイヤー60社(欧米9割)

## 地域連携DMO(三重県観光連盟)の取組

- WEBサイト「観光三重」閲覧者数  
 スマートフォン 全国3位  
 PC 全国5位  
 ※2017年「都道府県公式観光情報サイト閲覧者数ランキング」(公益社団法人日本観光振興協会 発表)
- WEBサイト「観光三重」から、直接、宿泊予約・体験予約ができるよう、Webプラットフォームの構築
  - デジタルマーケティングによる地域DMO活動の支援

## 地域DMOの取組

- Verde大台ツーリズム  
雄大な山川の自然を生かしたアクティビティの提供
- 伊勢まちづくり  
伊勢神宮外宮周辺の賑わいづくり
- 志摩スポーツコミュニケーション  
サイクリングを通じた自然の中でのスポーツ体験
- 相模海女文化運営協議会  
海女文化を体験できるまち  
伊賀上野観光協会
- 忍者の里としての観光地形成等

## 【提言・提案項目】

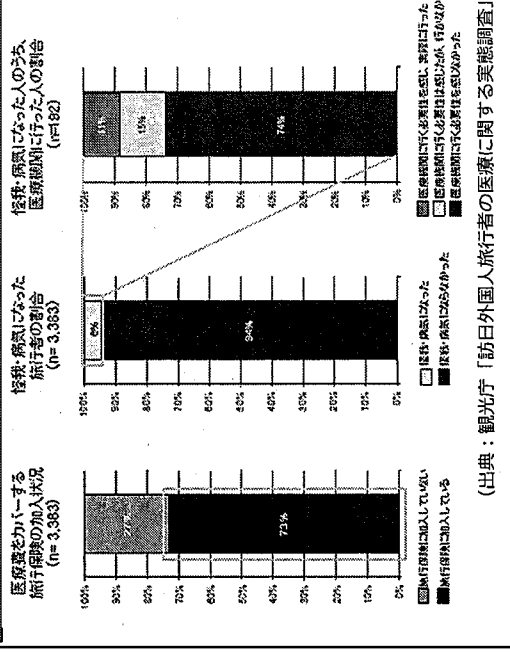
- 国際観光旅客税の用途に関する基本方針に則り、中小企業を対象としたキャッシュレス決済システムの導入や、魅力ある観光地域づくりを推進するDMO、地方自治体を将来にわたり支援する仕組みを創設すること。
- また、同税を財源として、訪日外国人への医療提供に係る医療機関の負担を軽減する支援策を早期に講じること。

## 三重県の現状

訪日外国人旅行者受入医療機関登録数 96件  
 (平成30年3月末現在)

### 課題

全国の外国人旅行者受入医療機関で発生している課題  
 ・医療費を支払えない、支払わない外国人患者  
 ・通訳者不在による、外国人患者との意思疎通が不十分な  
 状態での診療  
 ・医療文化・医療習慣の違いによるトラブル  
 ・帰国医療搬送、遺体搬送に係る事務手続き等の煩雑さ



## 課題解決に向けての対策案

- 国による外国人旅行者向け海外旅行保険加入促進PR(観光庁)
  - 医療機関が簡単かつ低廉に電話医療通訳を利用できるような国による環境整備
  - 国による医療機関向け支援相談窓口の設置
- 国際観光旅客税を財源とした対策を！**

【雇用経済部、医療保健部】

# 3 地方へのインバウンド誘致に向けた取組の推進

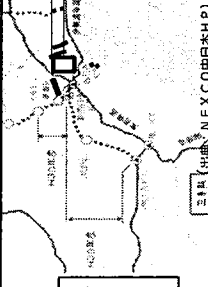
(厚生労働省、経済産業省、国土交通省、観光庁)

## 3 欧米等からのFITの誘致促進、クルーズ船の誘致強化

### 三重県を取り巻くチャンス

平成30年度、新名神高速道路・東名阪自動車道のダブルネットワーク完成

東海環状自動車道延伸中



### 欧米等からのFITの誘客の取組

インバウンド誘客のため、豊かな自然や有形無形の文化資源を活用した体験プログラムの開発



伊勢神宮 日別朝分大御講祭



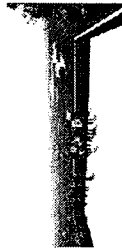
海女小屋体験



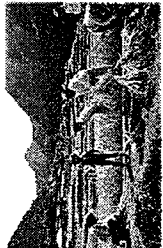
伊勢型紙体験



伊賀くみひも体験



横山展望台と英虞湾



丸山千枚田 稲刈体験

### 課題

欧米等からのFITの誘客に向けて、三重県ならではの自然文化・体験の中から、誘客効果が見込まれる観光資源の発掘と磨き上げ、プロモーションについて、専門的なノウハウを持つJUNIOの更なる支援が必要

### クルーズ船の誘致・受入の取組

平成30年4月27日、オール三重でのクルーズ振興に向け、「三重県クルーズ振興連携協議会」を発足

- ① 香港地(四日市、鳥羽)における受入対応の充実・強化
- ② 県内各地への誘客促進
- ③ クルーズ船に関する情報共有

### おもてなし部会

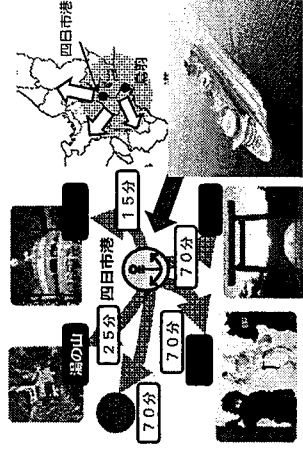
- ・外国語ボランティアの増員、タクシー・レンタカー受付窓口での案内など、インバウンド受入体制の充実・強化
- ・乗船客、乗組員向け交通手段の確保
- ・岸壁での歓迎イベント、物産販売、飲食メニュー等の充実 など

### 誘客部会

- ・香港口に合わせた地域でのショーツアナーや体験会等の実施
- ・クルーズ船のクラス、客層、寄港時期に応じた周遊コースの提案
- ・割引クーポンの発行 など

《海外クルーズ船寄港予定(2018年6月以降)》

- (四日市港)
  - ・英国船籍「ダイヤモンド・プリンセス」 2018.6~11(5回入港)
  - 2019.4~7(3回入港)
- (鳥羽港)
  - ・イタリア船籍「コスタ ネオロマンチカ」 2018.9
  - ・英国船籍「ダイヤモンド・プリンセス」 2018.10、2019.4~9(3回入港)



### 課題

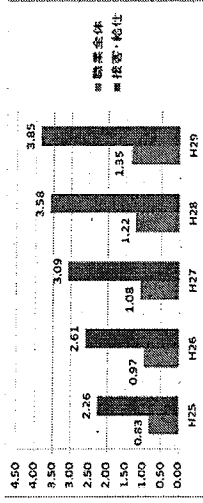
外国籍クルーズ船の寄港増加に向けたクルーズ船社との商談機会の増

## 4 宿泊施設の魅力向上

### 課題

宿泊業人手不足が深刻

平成29年有効求人倍率(全国値)  
職業全体 1.35倍 接客・給仕 3.85倍



出典：一般職業紹介状況(2017年厚生労働省)

宿泊業従業員満足度が低い

業種別従業員満足度

「旅館、ホテル、旅行等」44位(47業種中)

出典：「待遇面の満足度」業種別ランキング(Workers)

### 三重県の取組

○平成29年度

(株)リクルートライフスタイルが、三重県を美証実験の場として持続可能な宿経営の実現に向けた研修プログラムの開発に着手  
県内111宿泊施設が参加

研修参加者の声

- ・経営改革に対して、ポジティブなイメージが沸いた
- ・他旅館との意見交換によって、様々なアイデアを沢山聞けた
- ・業務の見直しをやってみようと思う
- ・従業員が認識する課題と一致していることが確認できた

○平成30年3月29日

(株)リクルートライフスタイルと三重県が「宿泊業の働き方改革」に関する連携協定締結

○平成30年度

- ・県内の宿泊業に関する雇用環境の把握・分析
- ・県内宿泊施設の経営者を対象とした研修の実施



### 【提言・提案項目】

- 3 欧米等からのFITの誘客促進、クルーズ船の誘致強化を図るため、各地方の積極的な誘客の取組に対して重点的に予算を配分するとともに、日本政府観光局(JUNTO)においては、地方と連携して観光地域づくりとプロモーションに一体的に取り組むこと。
- 4 インバウンド誘致に向けて魅力ある宿泊地づくりを推進するため、経営改革に取り組む宿泊施設を支援する事業を継続実施すること。

【雇用経済部、医療保健部】



2018年6月1日

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局  
農林水産省

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における 食材調達に関する取組方針

「東京2020大会における飲食提供に係る基本戦略（以下、飲食戦略）」（2018年3月、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「東京2020組織委員会」）においては「東京2020大会の飲食提供においては、予算の範囲内で国産食材を優先的に活用する。」、また、「被災地で生産された食材を活用したメニューを各ステークホルダーに提供することで、高品質の食材を生産できるまでに復興した現在の被災地域の姿の発信に寄与していく。」と記載されている。

一方、「持続可能性に配慮した調達基準」を満たした国産や被災地産の食材を積極的に調達するためには、産地名等の情報を飲食提供の場において発信することが重要である。このため、東京2020組織委員会に対し、産地名等の表示ができるようにすることを確認したところである。

大会本番における「飲食戦略」に基づいた上記の取組を実現させるため、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局及び農林水産省は、東京2020組織委員会と連携し、国内の産地における供給可能な食材名、量、認証の種類などの詳細な情報を収集する。また、これらの取組を通じて、GAP等の認証取得等の動きを後押しすることにもつなげていく。



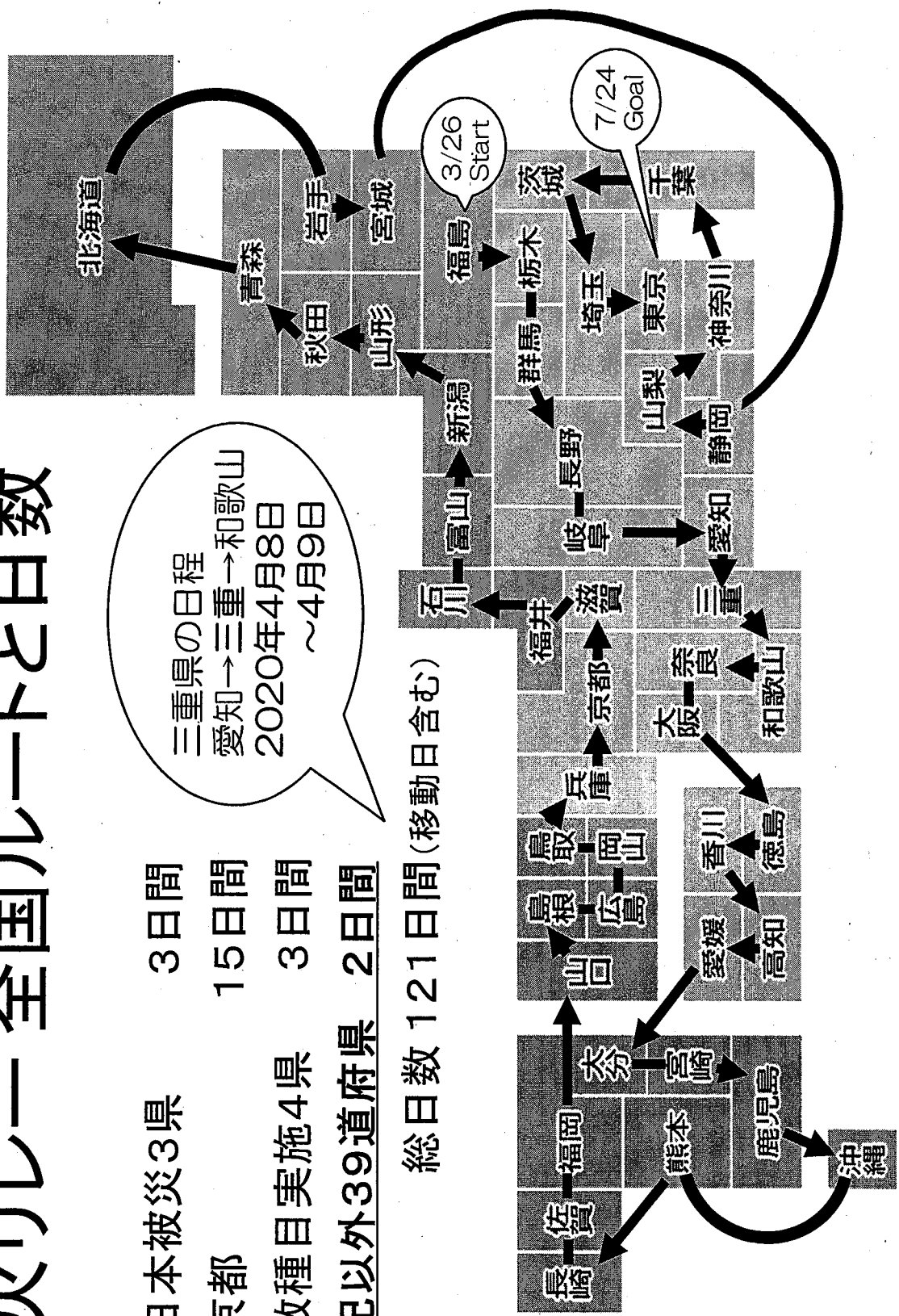


# 聖火リレー 全国ルートと日数

- ・東日本被災3県 3日間
- ・東京都 15日間
- ・複数種目実施4県 3日間
- ・上記以外39道府県 2日間

三重県の日程  
 愛知→三重→和歌山  
 2020年4月8日  
 ~4月9日

総日数 121日間 (移動日含む)



※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の公表資料に基づき、三重県が作成したものです。



## 東京 2020 マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」がデビューしました！

2018年7月22日

2018年7月22日（日）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のマスコットがデビューしました。

デビューに合わせて発表された名前は、東京2020オリンピックマスコットは「ミライトワ」、東京2020パラリンピックマスコットは「ソメイティ」です。

「ミライトワ」、「ソメイティ」は2017年12月から2018年2月にかけて、日本全国および海外の日本人学校の小学生による投票で選ばれました。

今後、「ミライトワ」と「ソメイティ」はオリンピック・パラリンピックの精神を伝えていくとともに東京2020大会のアンバサダーとして、東京2020大会ならではのメッセージを日本中・世界中に伝えていきます。また、大会に訪れる皆さまを歓迎し、盛り上げていけるようさまざまな活動を行っていきます。

### 名前の由来

#### 東京2020オリンピックマスコット「ミライトワ」

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠（とわ）」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。

#### 東京2020パラリンピックマスコット「ソメイティ」

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の触角を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

出典：東京オリパラ組織委員会 ホームページ



## 平成30年度全国高等学校総合体育大会について

## 1 三重県開催競技参加者

選手・監督	19,529名
(選手)	15,019名)
(監督・コーチ)	4,510名)
観客数(延べ数)	376,380名

## 2 役員・補助員

競技役員	2,650名
運営役員	1,589名 小計 4,239名
競技補助員	3,505名
運営補助員	2,978名 小計 6,483名

合計 10,722名

## 3 平成30年度全国高等学校総合体育大会 三重県選手団入賞者一覧

## 団体

	成績	競技種目	性別	種別	学校名	指導者
1	2位	アーチェリー	男子	団体	海星	紅林堯樹
2	3位	レスリング	男子	団体 (学校対抗)	いなべ総合	藤波俊一
3	3位	バスケットボール	女子	団体	四日市商業	横山俊幸
4	5位	ソフトテニス	女子	団体	三重	村田真紀乃
5	5位	テニス	女子	団体	四日市商業	金山敦思
6	5位	ソフトテニス	男子	団体	三重	玉川裕司
7	5位	なぎなた	女子	団体	稲生	松井千夏
8	5位	柔道	男子	団体	名張	稲澤真人
9	5位	剣道	男子	団体	三重	浜田義克
10	5位	水球	男子	団体	四日市中央工業	川口智央
11	8位	体操競技	男子	団体	暁	石原大

## 個人

成績	競技種目	性別	種別	氏名	学校名	指導者	
1	1位	ウエイトリフティング	男子	94kg級スナッチ	増田 竜星	亀山	石井伸子
2	1位	ウエイトリフティング	男子	94kg級C&J	増田 竜星	亀山	石井伸子
3	1位	ウエイトリフティング	男子	94kg級トータル	増田 竜星	亀山	石井伸子
4	1位	体操競技	男子	あん馬	長崎 柊人	暁	石原大
5	2位	弓道	女子	個人	齋木 玲那	四日市メリノール学院	竹神佐織里
6	2位	柔道	女子	57kg級	堂崎 月華	名張	宮下豊
7	3位	ソフトテニス	女子	個人	田川・浪岡	三重	村田真紀乃
8	3位	陸上競技	男子	ハンマー投	川合 隆誠	三重	大本裕樹
9	3位	陸上競技	男子	円盤投	鴨澤 青海	宇治山田商業	小池弘文
10	3位	陸上競技	男子	4×100mR	西山・林・高橋・山路	四日市工業	長屋憲明
11	3位	フェンシング	男子	サーブル	小久保 遥斗	鳥羽	松本優
12	3位	自転車競技	男子	ケイリン	小西 晴己	三重	関八洲雄
13	3位	レスリング	男子	65kg級	徳力 貫太	いなべ総合	藤波俊一
14	3位	柔道	女子	78kg級	宮橋 光	名張	宮下豊
15	4位	ウエイトリフティング	男子	62kg級スナッチ	岩佐 拓真	四日市工業	宮崎彰也
16	4位	ウエイトリフティング	男子	62kg級トータル	岩佐 拓真	四日市工業	宮崎彰也
17	4位	陸上競技	男子	5000mW	村手 光樹	上野	平井裕司
18	5位	アーチェリー	女子	個人	松井 香奈依	四日市四郷	久野圭太
19	5位	陸上競技	男子	棒高跳	田中 悠貴	皇學館	平賀活行
20	5位	陸上競技	男子	円盤投	三井 康平	稲生	南幸裕
21	5位	陸上競技	女子	七種競技	藤田 紗江	松阪商業	山本浩武
22	5位	レスリング	女子	47kg級	小林 ゆう	朝明	橋爪幸彦
23	5位	テニス	女子	ダブルス	吉岡・原田	四日市商業	金山敦思
24	5位	卓球	女子	ダブルス	白神・日口	白子	西飯幸子
25	5位	体操競技	男子	跳馬	首藤 匠	暁	石原大
26	5位	陸上競技	男子	三段跳	伊藤 陸	近大高専	松尾大介
27	5位	レスリング	男子	51kg級	古瀬 稜	いなべ総合	藤波俊一
28	5位	レスリング	男子	60kg級	太田 陸斗	いなべ総合	藤波俊一
29	5位	レスリング	男子	125kg級	西村 麻凜	松阪工業	奥村拓生
30	5位	なぎなた	女子	演技	落合・伊東	稲生	松井千夏
31	5位	柔道	男子	73kg級	伊藤 栄都	四日市中央工業	弓矢竜太
32	5位	柔道	男子	90kg級	石川 大夢	四日市中央工業	弓矢竜太
33	6位	陸上競技	女子	砲丸投	床辺 彩乃	松阪商業	山本浩武
34	6位	ウエイトリフティング	男子	56kg級C&J	大塚 涼太	四日市工業	宮崎彰也
35	7位	ウエイトリフティング	男子	56kg級トータル	大塚 涼太	四日市工業	宮崎彰也
36	7位	陸上競技	男子	1000m	山路 康太郎	四日市工業	長屋憲明
37	7位	陸上競技	男子	5000mW	荒川 尚輝	上野	平井裕司
38	7位	ウエイトリフティング	男子	77kg級スナッチ	谷川 龍人	亀山	石井伸子
39	8位	ウエイトリフティング	男子	62kg級C&J	岡本 光世	四日市中央工業	森浩之
40	8位	陸上競技	女子	やり投	松永 莉穂	四日市四郷	野呂圭一
41	8位	ヨット	男子	レーザーラジアル級	福田 廉	津工業	伊藤秀郎

**東京 2020 パラリンピック競技大会 22 競技 540 種目の全実施種目が最終決定!**

2018 年 8 月 6 日

国際パラリンピック委員会（IPC）は、東京 2020 パラリンピック競技大会の種目プログラム（トライアスロン 8 種目）を発表しました。

トライアスロンは、車いすの選手が出場する PTWC（男子／女子）、立位の選手が出場する PTS2（女子）・PTS4（男子）・PTS5（男子／女子）、視覚障がい選手が出場する PTVI（男子／女子）、全 8 種目（男子 4 種目、女子 4 種目）が実施されることになりました。

今回、トライアスロンの実施種目が決定したことにより、東京 2020 パラリンピック競技大会 22 競技 540 種目の全実施種目が決定しました。選手数の上限は変わらず 4400 名です。

アーチェリー（9 種目）、陸上競技（168 種目）、バドミントン（14 種目）、ボッチャ（7 種目）、カヌー（9 種目）、自転車競技（51 種目）、馬術（11 種目）、5 人制サッカー（1 種目）、ゴールボール（2 種目）、柔道（13 種目）、パワーリフティング（20 種目）、ボート（4 種目）、射撃（13 種目）、シッティングバレーボール（2 種目）、水泳（146 種目 ※）、卓球（31 種目）、テコンドー（6 種目）、トライアスロン（8 種目）、車いすバスケットボール（2 種目）、車いすフェンシング（16 種目）、ウィルチェアーラグビー（1 種目）、車いすテニス（6 種目）

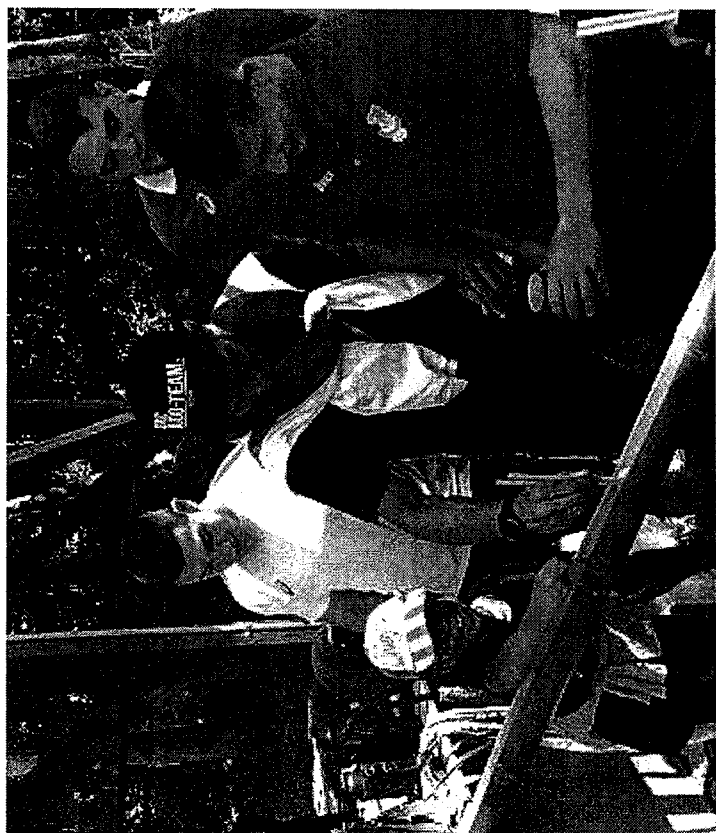
※暫定的な決定。リレー種目が東京 2020 大会で実施されるかどうかについては、2019WPS 世界選手権で実施の上、決定する。

出典：東京オリパラ組織委員会 ホームページ

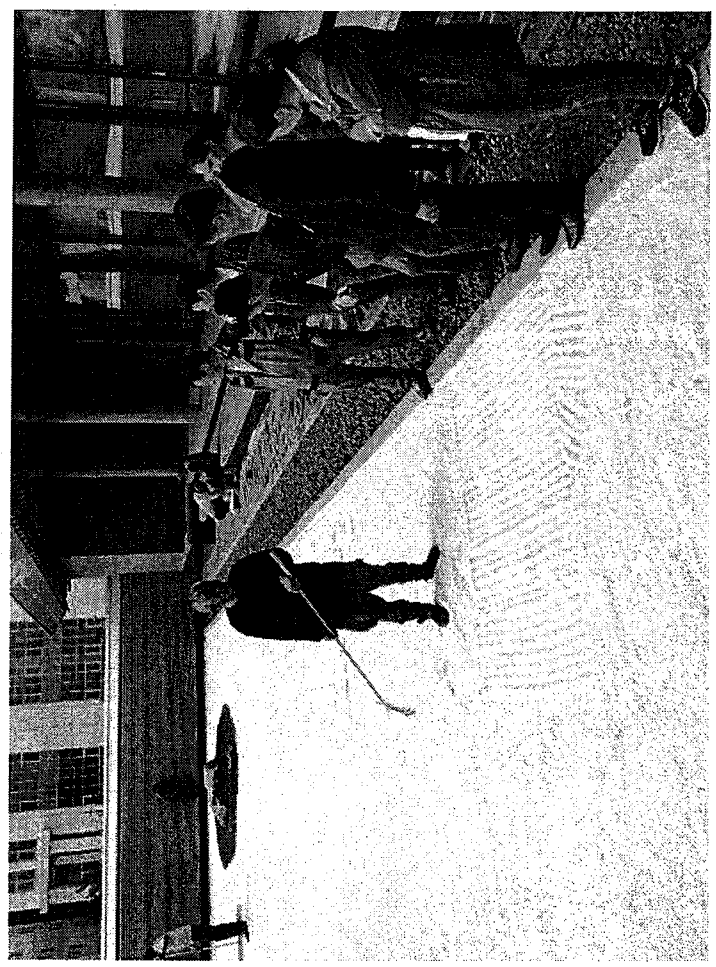




# ホストタウンの第九次登録について



(福岡県宗像市で柔道ブルガリアチーム受入れ 2018年8月)



(奈良県橿原市がガザスタンでの日本庭園造りを支援 2018年6月)

## 2018年8月

(内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局)

# 第九次登録団体の概要（1）

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色
岩手県	八幡平市	ルワンダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市特産の花きであるリンドウの実証栽培をきっかけとしたルワンダとの交流が縁となり、ルワンダ国立オリンピックスポーツ組織委員会とホストタウン交流に係る覚書を締結。今後、事前合宿の受入やルワンダとの文化・スポーツ、リンドウを通じた交流が期待される。</li> </ul>
山形県	白鷹町	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当町では1992年に山形県で開催された「バにばな国体」に合わせてソフトボール専用球場を整備し、成年女子ソフトボール競技を開催した。それ以降「ソフトボールの町しらかた」として、全国規模のソフトボール大会を開催しソフトボール競技の振興に取り組んできた。</li> <li>・オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の人脈を生かし、中国ソフトボールチームの事前合宿誘致も含めて、選手や大会関係者を中心とした交流を進めていく。</li> </ul>
埼玉県	幸手市	ベナン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐日ベナン共和国特命全権大使が当市の桜まつりを訪問したことをきっかけに、ホストタウンとしての交流について協議し「東京2020オリ・パラ競技大会を契機とした交流事業の合意書」を締結。文化・スポーツを通じたよりよい交流事業を展開する。</li> </ul>
千葉県	成田市	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に2020年東京パラリンピックにおける事前キャンプの実施に関して覚書を締結しており、2018、19年も事前キャンプを行う予定。様々な競技の事前キャンプを通じて、スポーツの振興はもとより、国際交流の促進や共生社会の実現につなげる。</li> </ul>
東京都	国分寺市	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JICAによる行政視察の受入れや、市内の企業・大学による医療・経済・文化・教育等の民間交流をベースとした官民連携による国際交流の促進と、事前キャンプ受入等による選手との交流を契機とし東京2020大会の機運醸成と地域活性化を図る。</li> </ul>
静岡県	富士市	スイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイス連邦水泳選手団の事前合宿を契機として、スイス水泳連盟と互恵関係を構築し、スイス連邦と当市の住民に対し、水泳やその他分野の交流機会を提供することで、当市水泳選手の強化、障害者スポーツの普及、国際交流・協力に対する意欲の向上、多文化共生意識の向上につなげる。</li> </ul>
三重県	熊野市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市で30年間にわたり実施しているソフトボールキャンプでのつながりをきっかけとして、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会での事前合宿受け入れも視野に入れつつ、台湾とソフトボールを軸とした交流を深める。</li> </ul>
滋賀県	滋賀県・彦根市	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彦根市と類似した観光資源である城郭都市の世界遺産を有するスペインを相手国とし、ハンドボール代表の事前合宿の実施について覚書を締結。琵琶湖、彦根湖、彦根城、美食など、滋賀県・彦根市ならではの資源を活用し、文化、観光の面においても、スペインとの交流を拡大していく。</li> </ul>

# 第九次登録団体の概要（2）

都道府県		登録団体名	相手国・地域	計画の特色
大阪府	貝塚市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたり民間レベルでの交流を重ねてきた台湾を相手国として、当市に女子卓球部の練習拠点を置く日本生命とも連携して卓球を中心とした交流を実施する。</li> </ul>	
島根県	益田市	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市では、地元のNPO法人が主体となり以前からサイクリングイベントやロード・レースの全国大会を開催しており、これらの既存の自転車コースを活用して、アイルランドの自転車競技ロード・レースの事前合宿誘致を目指す。事前合宿を契機とし大会終了後も様々な面においてアイルランドとの交流を進め、自転車によるまちづくりへつなげていく。</li> </ul>	
山口県	下関市	トルコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年柔道世界選手権大会、2020年東京オリンピック競技大会における柔道の事前キャンプを本市で行い、併せて、市民と選手との交流事業等を実施することにより、東京オリンピック競技大会の機運醸成を図り、本市の地域活性化につなげる。</li> <li>・東京オリンピック競技大会終了後も、本市の姉妹友好都市であるイスタンブール市との文化交流と併せて、トルコ共和国とのスポーツ・観光・経済交流を深める。</li> </ul>	

## (参考1) ホストタウンとは

2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる。

1. 以下の取り組みを行う地方公共団体は、ホストタウンとして登録できる。

① 住民等と次に掲げる者との交流

－ 大会等に参加するために来日する選手等

※事前キャンプだけでなく、大会競技終了後に、ホストタウンで地元の方々と交流する「事後交流」を含む

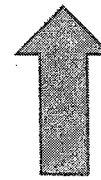
－ 大会参加国・地域の関係者

－ 日本人オリンピック・パラリンピアン

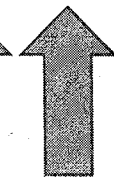
② ①に伴い行われる取り組みであって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図る  
うとするもの

2. 内閣官房オリパラ事務局に、団体からの相談・申請等を受け付ける窓口を設置する。

3. 関係府省庁は、各種財政措置（特別交付税などの地方財政措置を含む）、人材の派遣、情報提供などを通じ、ホストタウンの取り組みを支援する。



大会前後を通じた継続的な取り組みにしていく



上記取り組みを核として、更に地域のグローバル化、活性化、観光振興等へとつなげていく

## フラッグツアー実施場所および行事内容

## 1 フラッグ歓迎イベント

(主催：東京都、東京2020組織委員会、JOC、JPC)

日程	場所	フラッグツアーアンバサダー
9月1日(土)	県総合文化センター 中ホール	武田美保さん 細川宏史さん

## 2 フラッグ展示、フラッグ訪問イベント及び小中学校訪問イベント

日程	フラッグ展示場所	フラッグ訪問イベントおよび小中学校訪問イベント		
		フラッグ訪問イベント (オリンピック・パラリンピアンが、市町へフラッグを引継ぎます。)	小中学校訪問イベント (オリンピック・パラリンピアンが小中学校を訪問し、フラッグを引継いだり交流します。)	実施市町等
9月2日(日)	県総合文化センター大ホール前			三重県
3日(月)~4日(火)	三重県庁県民ホール			三重県
5日(水)			津市立朝陽中学校 内容：フラッグ引継ぎ・講演・実技・交流給食 パラリンピアン：前川楓さん	津市
6日(木)	松阪あゆみ特別支援学校			三重県
7日(金)		熊野市文化交流センター(午前)	熊野市立井戸小学校(午前) 内容：講演 オリンピック：野口みずきさん	熊野市
			尾鷲市立尾鷲小学校(午後) 内容：フラッグ引継ぎ、講演等 オリンピック：野口みずきさん	尾鷲市
	熊野市文化交流センター ※尾鷲市立尾鷲小学校の行事終了後、展示			熊野市
8日(土)~9日(日)	熊野市文化交流センター			熊野市
10日(月)~12日(水)	尾鷲市役所			尾鷲市
13日(木)		伊勢市役所(午前)	伊勢市立浜郷小学校(午後) 内容：講演、交流給食、実技(予定) オリンピック：野口みずきさん	伊勢市
14日(金)	伊勢市役所			伊勢市
15日(土)~16日(日)	県営サンアリーナ			伊勢市
17日(月・祝)	伊勢フットボールヴィレッジ			伊勢市
18日(火)	伊勢市役所			伊勢市

日 程	フラッグ展示場所	フラッグ訪問イベントおよび小中学校訪問イベント			
		フラッグ訪問イベント (オリンピック・パラリンピアンが、市町へフラッグを届けます。)	小中学校訪問イベント (オリンピック・パラリンピアンが小中学校を訪問し、フラッグを引継いだり交流します。)	実施市町等	
19日(水)			伊賀市立上野東小学校 (午前)	伊賀市	
			内容：フラッグ引継ぎ、講演、交流給食 (予定)		
			オリンピック：宮本ともみさん		
				名張市立美旗小学校 (午後)	名張市
				内容：講演、ミニゲーム (予定)	
				オリンピック：宮本ともみさん	
20日(木)	県総合文化センター中ホール (同日開催：国民体育大会三重県選手団結団壮行式)			三重県	
21日(金)	名張市武道交流館いきいき			三重県	
22日(土)	ハイトピア伊賀			伊賀市	
23日(日)	伊賀市しらすぎ運動公園 (スポーツフェスティバル2018ゲートボール会場)、ハイトピア伊賀 ※荒天時はハイトピア伊賀で展示			三重県 伊賀市	
24日(月・祝)	ハイトピア伊賀			伊賀市	
25日(火)		川越町あいあいホール (午前)	川越町立川越中学校 (午前) (場所：川越町あいあいホール)	川越町	
			内容：対談講演 オリンピック：小椋久美子さん		
			四日市市立常磐中学校 (午後)	四日市市	
			フラッグ引継ぎ、対談、デモンストレーション オリンピック：小椋久美子さん		
	四日市市総合会館 ※四日市市立常磐中学校の行事終了後、展示			四日市市	
26日(水)	四日市市総合会館			四日市市	
27日(木)～28日(金)	川越町役場			川越町	

応募にあたって

活動期間

大会期間中及び大会期間前後において、10日以上活動を基本とします。競技スケジュール、活動内容、活動場所等によっては、シフト等の都合により10日を下回る場合もあります。

※大会期間前は、2020年4月以降を想定しています。

※連続での活動は、5日以内を基本とします。

活動時間

休憩・待機時間を含み、1日8時間程度

※競技スケジュール、活動内容、活動場所等により異なる場合があります。

※その他食事時間があります。

応募にあたって

次の2つにあてはまる方が応募可能です。

1. 2002年4月1日以前に生まれた方
2. 活動期間中において、日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方

積極的に応募していただきたい方

- ◆ 東京2020大会の大会ボランティアとして活動したいという熱意を持っている方
- ◆ お互いを思いやる心を持ち、チームとして活動したい方
- ◆ オリンピック・パラリンピック競技に関する基本的な知識がある方
- ◆ スポーツボランティアをはじめとするボランティア経験がある方
- ◆ 英語、その他言語及び手話のスキルを活かしたい方

活動にあたりお渡しする物品等

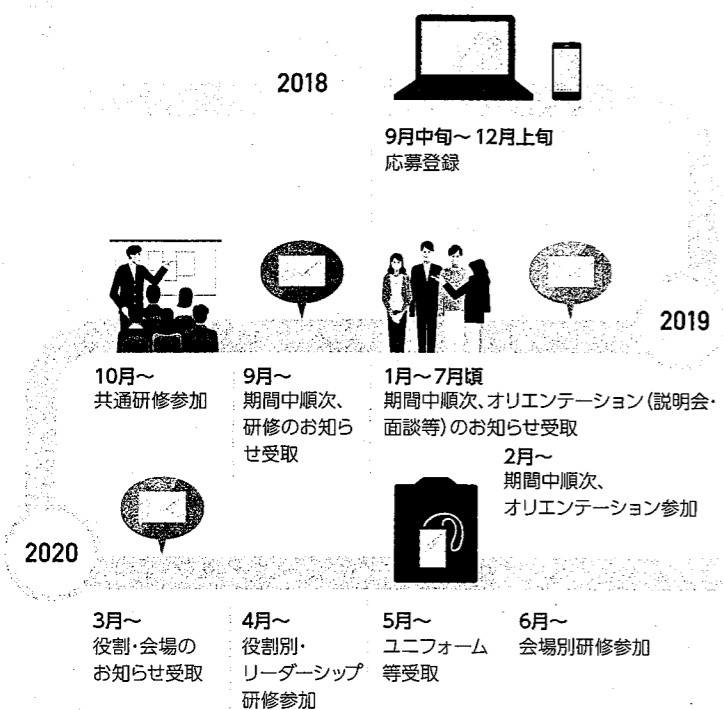
- ◆ オリジナルデザインのユニフォーム一式(シャツ、ジャケット、パンツ、キャップ、シューズ、バッグ等)
  - ◆ 活動中の飲食
  - ◆ ボランティア活動向けの保険
  - ◆ 活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当として一定程度
- ※オリエンテーション、研修及び活動期間中における滞在先までの交通費及び宿泊は、自己負担・自己手配となります。



リオ2016大会で活動するボランティア

応募からの流れ(ボランティアジャーニー)

よくあるご質問



- Q** 活動内容や役割等はどのように決まるのですか。  
**A** 応募にあたり希望した役割・活動場所等と実際の役割・活動場所等とのマッチングを行い、具体的な役割・活動場所をお知らせします。その内容を承諾していただいた場合に決定します。  
 なお、マッチングが不成立の場合は、2019年9月頃にお知らせする予定です。
- Q** 英語が苦手なのですが、応募できますか。  
**A** 語学力を必要としない活動内容も多くあるため、語学に自信がない方でも、積極的な応募をお待ちしています。  
 外国語での挨拶や日常会話ができる、より楽しんで活動いただけるのではないかと考えています。
- Q** 障がいがありますが、応募できますか。  
**A** 障がいの有無にかかわらず、より多くの方に応募いただきたいと考えています。  
 オリエンテーションや研修・活動において配慮・サポートが必要な方は、応募登録の際にその旨を記載してください。

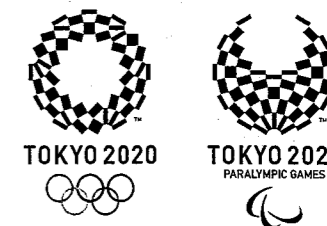
# 東京2020オリンピック・パラリンピック 大会ボランティア

オリンピック・パラリンピックの成功は、まさに「大会の顔」となるボランティアの皆さんの活躍にかかっています！  
 「東京2020大会を成功させたい」という熱意をお持ちの方、またとない自国でのオリンピック・パラリンピックの運営に直接関わりたい方、みんなで一緒に東京2020大会を盛り上げていきたい方の応募をお待ちしております！

募集人数 **80,000人** 応募期間 **2018年9月中旬 - 12月上旬**

※競技会場までの観客の案内等を行う「都市ボランティア」については、東京都や競技会場が所在する自治体それぞれにおいて募集・運営されます。都市ボランティアを含む詳細な情報は、こちらをご覧ください。

<https://www.volapso.tokyo/summary.html>



応募方法 ウェブサイトからの応募となります。  
 「東京2020公式サイト」の大会ボランティア特設サイトから、応募してください。

お問い合わせ TOKYO 2020 大会ボランティア運営事務局  
 電話番号: ナビダイヤル 0570-08-2020 (IP電話・国際電話等の場合: 045-330-3036) ※平日9:00～17:45受付  
 メールアドレス: [contact-center@volunteer.tokyo2020.jp](mailto:contact-center@volunteer.tokyo2020.jp)



# 大会ボランティア活動分野

大会ボランティアは、競技が行われる会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を行います。

## 1 指定なし

どんな活動でもいいので  
ボランティアとして参加したい

どの活動か、あえて指定せずに応募することも可能です。希望活動分野を決めかねている方、どんな分野でもいから活動してみたい方におすすめです。



## 6 運営サポート

競技会場、選手村、車両運行等の様々な運営サポートを行います。例えば、配付施設でのスタッフ(ボランティア等)のユニフォーム配付や、大会関係者が保有するIDの発行、スタッフが日々の活動を開始する際の「チェックイン」受付等を行います。その他、選手村やメディアセンターにおいて、物品を貸し出すなど、活動の内容や場所は多岐にわたります。

## 2 案内

会場内等で観客や大会関係者の案内、チケットチェックや荷物などのセキュリティチェックのサポートを行います。また、競技会場以外にも空港やホテルで、大会関係者が円滑に日本に入国・宿泊できるよう、案内を行います。



## 7 ヘルスケア

選手にけが人が出た場合、医務室への搬送サポートを行います。「ファーストレスポonder」は、応急手当セットを所持して2人1組で会場内を巡回します。また、ドーピング検査のサポートは、対象選手への告知、検査室への誘導や受付を行います。(検体採取は有資格者が行います)



## 3 競技

競技会場や練習会場内で競技運営等のサポートを行います。競技に必要な備品の管理を手伝ったり、競技会場内で競技の運営そのものに関わるなど、場所や競技によって活動は多岐にわたります。



## 8 テクノロジー

大会関係者等に向けて、通信機器等の貸出しや回収等のサポートを行います。また、競技会場内の競技が行われている場所で、競技結果の入力や表示を行います。

## 4 移動サポート(運転等)

大会関係者が会場間を移動する際に車を運転し、快適な移動となるようサポートをします。自動車の運転を行うために普通自動車運転免許が必要です。



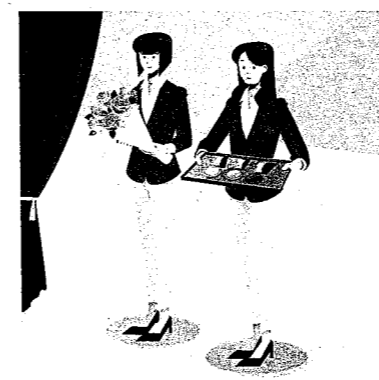
## 9 メディア

国内外のメディアが円滑に取材できるよう、様々なサポートを行います。例えば、記者やフォトグラファーの取材の管理サポート等のほか、記者会見をスムーズに行うための準備・運営サポート等を行います。また、東京2020大会を記録するための記録用写真、動画の編集サポートや選手村の新聞制作のサポートを行います。



## 5 アテンド

海外要人等が快適に日本で生活できるよう、空港や会場等様々な場所で接遇を行います。また、選手が快適な競技生活を送ることができるよう、外国語でのコミュニケーションサポート等を行います。これら以外にも競技を終えた選手がメディアからインタビューを受ける際に、外国語でのコミュニケーションサポート等も行います。



## 10 式典

各競技の表彰式において、選手や大会関係者の案内を行います。また、メダル・記念品の運搬等を含めた表彰式運営のサポートも行います。

※ 応募する際に、希望する活動分野を最大3つまで選択することができます。ただし、必ずしも希望どおりになるわけではありませんので、ご了承ください。  
※ 活動分野は複数の活動が組み合わさった記述です。そのうち一部の活動を行います。



## 東京 2020 オリンピック聖火リレー三重県実行委員会 役員

所属等		氏名	実行委員会 役員
三重県	知事	鈴木 英敬	会長
三重県警察本部	本部長	難波 健太	
三重県消防長会	会長(四日市市消防 本部消防長)	坂倉 啓史	
三重県市長会	会長(伊勢市長)	鈴木 健一	副会長
三重県町村会	会長(大紀町長)	谷口 友見	副会長
(公財)三重県体育協会	理事長	東地 隆司	
(株)イムラアスリートアカデミー		井村 久美子	
(株)オアシス	代表取締役	小崎 麻莉絵	

